

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

人口減少対策に向けた住み続けたいまちづくり

自治体名

館林市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにとまとめました。

1 都市部との魅力格差

館林市のことをよく知らない子供が館林市の郷土や企業のことを勉強することで、将来館林市との関わり、行政との連携を含めた官民連携による地域活性化につなげるために、何が可能か？

2 子育て環境の不足

結婚、子育てをしている地域外の若者が夫婦および地域で一体となって子供を育てることで子育てしやすい街にするために、何が可能か？

3 国際交流が少ない

館林市に住みたい（住んでいる）外国籍の方が日本の文化を理解することで地域への愛着を生み出すために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>やってみよう</p>	<p>みんなでなんでもできる広場。公用地との交渉が整い次第、行政が窓口となって、飲食、交流、パーティなどができるようにする。</p>	<p>みんなでトーク！</p>	<p>放送環境の整った家やスタジオなどのラジオブースで、外国籍の方が英語のみで会話し、地域の情報や近況などを話す。</p>
<p>館林認定！ 子育て応援企業</p>	<p>育児と仕事を応援する企業を増やす。館林市の担当課が子育てと仕事の両立支援の取り組みをしている企業を認定し、HPで紹介する。</p>	<p>わたしたてばやし</p>	<p>館林市の推し活。館林のよいところを紹介する。トイブロックで信楽焼たぬきをつくる。</p>